



本学の COC 事業も
おかげさまで3年目を迎えました！

COC (Center of Community) : 文部科学省「地(知)の拠点」整備事業
大学が中心となり、地域社会と連携し、全学的に地域
を志向した教育・研究・社会貢献を進める事業。初年度
(平成 25 年度) は、申請 299 件中本学を含む 52 件が採
択され、地域活性化のための活動が展開されています。

CONTENTS

- 2 ページ H27 前期 COC 活動レポート
- 6 ページ H27 地域志向教員研究費
採択テーマ
- 7 ページ 学生団体 COCOS 活動報告
- 8 ページ 地域協働支援室からの
お知らせ

平成 27 年度前期 地域協働授業等レポート

地域の魅力向上

地域の産業発展

子どもの教育支援

持続可能な社会への対策

地域の安全安心

高齢者等への支援

本学のCOC活動領域

地域の魅力向上

地域の産業発展

子どもの教育支援

持続可能な社会への対応

地域の安全安心

高齢者等への支援

観光の魅力発信、地域資源の発掘 等

先端技術開発 等

科学離れ対策授業の開催 等

環境保全、環境に配慮したものづくり 等

防災対策 等

介護支援、障^{がい}者支援 等

地域の魅力向上

里山散策アプリの開発

NPO 法人きんたろう倶楽部×中田研究室とイメージトレイニー

中田研究室と学生サークル「イメージトレイニー」は、呉羽山の里山保全活動を行っている「NPO 法人きんたろう倶楽部」の依頼を受け、本年 3 月より呉羽山散策アプリ開発を行ってきました。

このほど 9 月に無事完成し、呉羽山に位置する富山市ファミリーパークにてお披露目会を開き、市民モニターや NPO 会員の方々と共に、実際にアプリを用いて呉羽山を散策し、その出来栄を確認しました。参加者からは「わかりやすい」「迷わない」などの声が聞かれました。

今後はこのアプリが入った端末を貸し出したり、アプリを端末にインストールできるようにしていく予定です。

射水市政策提言

射水市×中島専門ゼミ

射水市政策提案のため、フィールドワークとして観光スポットである射水市新湊一帯を実地調査しました。次に、二つのグループに分かれて、「住みたいまち」について政策提案するために、グループワークを重ね、8 月 30 日に行われた「学生による政策提案審査会」で発表しました。

政策を提案し、課題への対処法や期待される効果を考えるというのは思っていた以上に難しいことだと感じました。今回の取組により、課題発見や対処法を考えるという力が以前より身についたと思いました。提案した政策に対する市民等の需要も考慮しなくてはいけない等、課題が残っていますが、今回の経験を踏まえて、今後に生かしていきたいです。(参加学生の声)



地域の産業発展

富山の醗酵産業を学ぶ

若鶴酒造・富美菊酒造・山藤ワイナリー×西田トピックゼミ

富山県の酒造業の現状や課題を調べるために、富山県内の酒造業者を3社見学させていただきました。

まず始めに砺波市の若鶴酒造を訪ね、市の文化財にも登録されている酒蔵「大正蔵」を見学し、杜氏の方から直接酒造りについて伺ったり、広報担当の方から企業努力や今後の課題なども伺うことができ



ました。

次に富山市にある富美菊酒造を訪ね、醗酵中の酒を混ぜる「櫓（かい）入れ」など実際の酒造りの様子を見学させていただきました。泡を立てて醗酵している様子を目の当



たりにした学生からは「微生物の働きが身近に感じられた」との感想が寄せられました。代表取締役の羽根さんからは、東京（県外）への市場開拓についての話などの企業努力についても伺うことができ、貴重な機会となりました。

最後に日本酒醸造業と比較するために、富山市婦中町にある山藤ぶどう園ホーライサンワイナリーを訪ね、家族で経営されている山藤さんご一家から、施設や農園を丁寧に案内していただき、日本酒とは異なる醸造過程を知ることができました。また、ぶどう棚の手入れも体験させていただき、商品が完成するまでの手間や苦労も実感することができました。



子どもの教育支援

手作りラジオ教室

射水市の中学生×石坂専門ゼミ

子どもたちに身近なものを作り、モノづくりの魅力を知ってもらうために、学生が主体となって日程、予算、人数規模、そして中学生に理解しやすい説明はどのようなものかを検討して手作りラジオ教室を開催しました。

初めて自分で作った手づくりラジオから音が聞こえてくると中学生たちは感動していました。

この体験を通して、企画をすること、人に教えるということの難しさを改めて実感しました。今回のように実際に作って体験をするというのが理科・科学を好きになれる1番のきっかけになるのではと思いました。（参加学生の声）



中学生の理数離れを考える

小杉南中学校×三宅トピックゼミⅠ

射水市立小杉南中学校に協力していただき、科学部の生徒と3年生を対象に中学生の理数科目の学習実態調査を行いました。科学部は近隣小学校への「おもしろ科学実験」を企画・準備していたので、その支援をしつつ、部員の皆さんに理数科目に対する興味と学習実態の聞き取り調査を行いました。

中学3年生に対しては、期末テストを控えた生徒の中の希望者31名へ、テスト勉強補習会を実施しました。放課後の約1時間、学生1人が3、4名の中学生の学習（理数科目）を手助けしました。

射水市小杉南中学校の皆さんと関わる中で、理数科目を苦手とする生徒が多くいることを実感しました。今後も継続して教えに行ったり、学習方法などを伝えることができれば、改善に繋がります。そう感じました。（情報システム工学科2年 榎原拓実）



持続可能な社会への対応

有機野菜を使った料理体験

カフェ・ゴッコ×平野・土井教養ゼミ

富山市にある有機野菜など安心・安全な食材を使った料理を提供する「カフェ・ゴッコ」オーナー広野美代子さんを講師に迎え、安全な食についての講習会と、実際に有機野菜を使った料理教室を実施しました。

だしから作る本格味噌汁や肉じゃが、炊き込みご飯など、地元有機野菜をふんだんに使った料理に学生たち自ら挑戦し、そのおいしさに皆が舌鼓を打ち、有機農業の大切さを考えさせられました。



海ゴミ問題を考える

六渡寺自治会×楠井トピックゼミ

射水市の六渡寺（ろくどうじ）海岸は、2つの河川からゴミが漂着するため大量のゴミが溜まります。本ゼミでは、地元自治会と協働し、ゴミ拾いから始め、実態を調査・把握し、解決策を考えました。

ゴミには流木などの自然物に加え、ペットボトルなどのプラスチック製品も多く、流域でのゴミ回収のあり方を考えたり、人々の意識向上を図ることが不可欠であることを確認しました。



今年も実施
しました！

立山での
外来植物除去活動

本学1年生の必修科目「環境論Ⅰ」で実施される「エコツアーⅠ」では、富山県のコナラリスト（自然解説員）の方々のご協力の下、毎年7月末に立山（室堂周辺）の外来種除去活動を行っています。観光客の増加などに伴い、本来は高山に自生しない低地生のイタドリやオオバコなどが移入し、在来植物の生育環境に変化を及ぼしています。それら移入種（外来種）を除去する作業を、3年前から実施しています。今年も新生入生が頑張りました！

持続可能な社会への対応

コミュニティバスのシミュレーション評価

射水市×榊原卒研ゼミ

射水市コミュニティバス路線のエージェントシミュレーションによる評価と社会実験の一環としてコミュニティバス利用について市民の皆さんにアンケート調査を朝、昼、夕の3回小杉駅で行ないました。

結果は今後のコミュニティバス路線最適化や新路線設定時等の提案に活用します。

アンケート調査には地元小杉高校3年生2人も参加しました。



その他の地域協働授業

	テーマ	担当教員
魅力	竹内源造記念館でのボランティアガイド	原口 志津子 教授
魅力	射水市第二のふるさと県大生射水市観光モニターツアー	平野 嘉孝 准教授 / 濱 貴子 講師 / 植田 浩明 講師
魅力	異文化理解のための英語コミュニケーションの実践	山崎 大介 准教授
魅力	暮らしと機械工学の関わり 地元・小杉の「まち」から学ぶ	小林 一也 准教授
魅力	北陸新幹線の開業に伴う地域観光と公共交通機関の接続、利便性	中村 清実 教授 / 藤井 正 准教授
魅力	統計から見たとやま	太田 聡 教授
魅力	高岡市の課題について考える	岩本 健嗣 准教授
魅力	富山県のインフラツーリズムと観光資源	手計 太一 准教授
産業	地域の科学技術の先駆者に学ぶ	濱 貴子 講師
産業	地域企業における製品開発と産学連携	森 孝男 教授
産業	地域の伝統産業を知る	西田 泰伸 准教授
産業	もの作りの現状と目指すもの	岩田 栄之 准教授
産業	コマを通じたモノづくり技術の習得	岩井 学 准教授
子ども	新幹線用ベアリング展示を通じた子供たちへの科学の魅力発信	堀川 教世 准教授 / 宮島 敏郎 講師
子ども	ダ・ヴィンチ模型で遊んでみよう	神谷 和秀 准教授
子ども	手作りプラネタリウム	松本 公久 講師
持続	科学技術と社会のつながりを考える（イタイイタイ病資料館を訪問）	井戸 啓介 講師 / 川上 陽介 准教授
持続	身近にある熱流体現象（おからの再利用について）	中川 慎二 准教授
安全	射水市災害マップとオープンデータ化の意義	小林 香 講師

平成 27 年度前期 成果発表会

7月17日（金）、本学大講義室にて平成27年度前期の地域協働授業成果発表会を行いました。トピックゼミを中心とした7ゼミが集まり、それぞれが地域の人々と協働して学修した内容を、スクリーンに資料を映し出しながらプレゼンテーションをしました。会場には学生教職員の他、各発表団体との協働相手である地域の方々にご来席いただき、活発な質疑応答がなされ、それぞれが学修したことや地域の様々な課題などを共有することができました。



1. 「竹内源造記念館の解説ボランティア」
(教養ゼミⅡ 原口志津子教授)
2. 「地域の社会的リーダーの足跡と社会的形成について学ぶ
～南砺市松村記念会館見学を通じて～」
(トピックゼミⅠ 濱貴子講師)
3. 「コマ大戦を通じたモノづくり技術の習得」
(プレゼンテーション演習 岩井学准教授)
4. 「中学生の理科科目の学習実態について
～地元中学生との交流を通じて～」
(トピックゼミⅠ 三宅壮聡准教授)
5. 「北陸新幹線開業後の氷見観光ツアープラン」
(プレゼンテーション演習 藤井正准教授)
6. 「富山の醗酵産業 ～日本酒を中心として～」
(トピックゼミⅠ 西田洋巳教授)
7. 「海ゴミ問題の実状と解決策の提案」
(トピックゼミⅠ 楠井隆史教授)

平成 27 年度 COC 地域志向教育研究費 採択テーマ一覧

区分	所属	教員名	テーマ	対象地域
教育	教養	原口 志津子	文化財による地域振興の研究 - 近代化遺産・富岩運河水閘施設（中島閘門）を例として -	富山市
		中川 佳英	地域を通じての国際交流	射水市
		山崎 大介	地域小学生のための英語教室 - グローバル人材育成につながる英語教育支援 -	射水市
	機械	小林 一也	持続可能な地域社会のための公共交通を中心とした街づくりの推進	射水市、高岡市
		宮島 敏郎	「ベアリング展示」を通じた子供たちへの魅力ある科学の発信	射水市、富山市、 県内各地
	知能	岩井 学	コマ大戦を通じたモノづくり技術の習得	その他（機電工業会）
		藤井 正	公民館での理科教室の実践	その他（高岡市）
		松本 公久	継続可能な「プラネタリウム工作教室」の検討	富山市、黒部市
	情報	鳥山 朋二	高齢者の日常生活動作の理解とそれを支援する機器開発検討を通じた高齢者福祉学習の実践	射水市
		石坂 圭吾	中学生を対象とした手作りラジオ教室の企画提案	射水市
		岩本 健嗣	高校生の研究補助員としての研究室への受け入れ	射水市
	生物	中島 範行	射水市小学校での理科実験の実践	射水市
		西田 洋巳	富山の日本酒の現状と今後について考える	その他（富山の酒造会社）
	環境	手計 太一	これまで学んだ土木工学を活かした富山県のインフラツーリズムの活性化案の提案	その他（富山県）
研究	知能	神谷 和秀	出前モノづくり体験教室用組み立て教材の開発	富山市
	情報	鳥山 朋二	地方における若年層未定着の原因分析とICTを利用した解決法に関する探索的研究	射水市
		岩本 健嗣	観光、交通政策への携帯キャリアのビッグデータの活用	射水市、 その他（富山県）
		中田 崇行	「呉羽山散策アプリ」の提案、作成、広範な使用、その評価	その他（NPO法人）
		小林 香	射水市における避難施設の地理的位置の評価及び最適配置の検討	射水市
		浦島 智	センサ付歩行支援具の検討及び開発	射水市
	環境	渡辺 幸一	小矢部市の中山間地域における廃校を利用した大気環境観測 - 越境大気汚染や火山性物質の動態および安全・安心のための情報提供	その他（小矢部市）
		川上 智規	富山県内温泉を対象とした温泉排水処理技術の開発	黒部市
		奥川 光治	都市公園としての薬勝寺池の水環境に関する調査研究	射水市
		畠 俊郎	小矢部地区における農業廃棄物を活用したバイオディーゼル燃料生成の高度化	その他（小矢部市）
		伊藤 始	旧富山大橋のコンクリートと鋼材の試験分析を通じた記録・記憶の保存	その他（富山県）
		立花 潤三	地域エネルギー需要マップの作成とバイオマス利活用によるエネルギー需給システムの構築	黒部市
学生プロジェクト	情報	環境3年 川崎 稀文 （水土里保全研究会） （教員：岩本 健嗣）	「ふく福柿」の収穫者不足、収穫作業の改善と販路の拡大 （水土里保全研究会、COCOS 合同）	砺波市
		情報4年 高松 将也 （教員：岩本 健嗣）	学内案内システムと射水市コミュニティバスへのiBeaconを導入したシステム開発	射水市
		情報3年 櫻井 築(COCOS) （教員：岩本 健嗣）	南砺コミュニティづくり	南砺市
		情報2年 榊原 拓実(COCOS) （教員：岩本 健嗣）	射水祭り のじた踊りでフォトモザイク	射水市
	生物	生物2年 杉本 拳 （教員：中島 範行）	Plant Project - Sunflower Life Cycle -	射水市

学生団体 COCOS の H27 年度前期活動報告

昨日の自分に差をつける COCOS とは？



COCOS は COC(地域協働事業) を学生主体で取り組んでいくために昨年発足した富山県立大学の学生団体です。地域の自治体などと交流し、共に地域の問題を解決していくことを目的としています。「成長したいと思っている」、「自分のできることを探したい」学生は大歓迎です。私たちと一緒に富山県の様々なテーマに関わっていきましょう！！



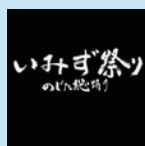
富山県の旅行プラン提案 北陸カレッジ



北陸カレッジは、北陸各県の観光地をめぐり魅力的な旅プランを大学生の目線で提案するイベントです。関西・関東方面から参加した学生に富山県の魅力を知ってもらうだけでなく、定番の観光名所や隠れた名所などを案内した COCOS メンバーもこのイベントを通じて富山県の魅力を発見できました。



射水をひとつに！ 第一回いみず祭り



「射水市の一体感を高めたい！」という射水青年会議所の思いから、第一回いみず祭りが開催されました。

その中で COCOS は約 1 万枚もの射水市内の写真を使いフォトモザイクを作りました。完成した作品は射水市が一つとなるきっかけになったと思います！



学生団体 COCOS の 後期活動予定



みどり
水土里保全研究会との共同企画

ふく福柿プロジェクト

高校生が政治に興味を

選挙推進プロジェクト



etc...



活動場所：環境工学科棟 3F

地域協働支援室 (I-333 室)

mail: tpu-cocos@outlook.jp

Facebook: fb.me/tpu.cocos

代表：情報システム工学科 3 年 大巻 翔



facebook の QR はこちら↑

地域協働支援室からのお知らせ

県大の先生方へ

「COC 課題別グループ」メンバー募集！

地域協働授業を実施している、また今後の実施を考えている教員の皆さんに「課題別グループ」に参加していただき、複数の教員の情報や経験の共有及び協働で、COCの取組を充実し、その継続性を図るためにグループメンバーを募集しました。

今後、複数の教員の情報・経験を共有することで、より充実した教育研究活動や地域関係者との継続した取り組みが可能となればと考えています。

現在のメンバー数は右の通りですが、まだ参加者のいないグループもあります。研究でも、授業でも、当てはまると思うグループに、いつでもお気軽に参加申込み下さい。

申込み及び問合せは地域協働支援室まで
coc1@pu-toyama.ac.jp または内線632

課題別グループメンバー数

(平成27年12月現在)

- 子どもの教育支援 : 6名
- 地域の魅力向上 : 6名
- 持続可能な社会への対応 : 6名
- 高齢者等への支援 : 2名
- 地域の安全安心 : 2名
- 地域の産業発展 : 2名

計24名

アクティブラーニング協働スペース をどんどん利用してください！

どんなところ？

一度も行ったことがない！

打ち合わせ



学生同士でのグループワークや打ち合わせ、地域や外部の人との打ち合わせに！

プレゼンテーション



ホワイトボード、プロジェクター、スクリーンなどの設備完備！

情報収集



地域協働やアクティブラーニングなどに関する図書がたくさん！

活動の進め方相談



スタッフが常駐しているので、主体的な学習法やグループワーク、COCへの取組相談可

■こんな時にオススメ！

- ☑ゼミ発表の練習
- ☑グループ打ち合わせや学習
- ☑地域での取り組みに関する情報収集

誰でも利用できます。ぜひ気軽にお越しください。

■利用案内

- 予約制：地域協働支援室にて直接申し込み（電話・メールでも可）
メール coc1@pu-toyama.ac.jp
電話 0766-56-7500（内線255）
- 対象：本学 全学生
- 利用時間：8:50～19:00（土日・祝日を除く）
- 場所：環境工学科棟3階 地域協働支援室（I-333室）



ホームページOPEN！

今までの活動などをまとめてあります。ぜひご覧ください。
<http://www.pu-toyama.ac.jp/coc/>

富山県立大学地域協働支援室

〒939-0398 富山県射水市黒河5180 TEL: 0766-56-7500（内線255）
（環境工学科棟I-333室） FAX: 0766-56-8022
mail: coc1@pu-toyama.ac.jp

<http://www.pu-toyama.ac.jp/coc/>

富山県立大学 COC 検索

発行：平成27年12月